

（6）現地調査

ア．調査概要

2026年6月26日22時28分に発生した山梨県東部・富士五湖の地震（M5.6）により、甲府地方気象台は、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、震度5強以上を観測した震度観測点の観測環境が地震により異常を生じていないか、設置状況の点検および震度観測点の周囲約200mの範囲内での被害状況を把握するため、現地調査を実施した。

いずれの観測点においても、震度計台や周囲の地盤等には震度観測に影響を与えるような異常は認められなかった。なお、震度観測点周辺で確認された主な被害状況については、エ項に取りまとめた。

イ．調査日

2026年6月28日（日）

ウ．震度観測点および観測環境点検結果

震度6弱を観測した「富士河口湖町長浜＊」、震度5強を観測した「大月市御太刀＊」の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等には震度観測に影響を与えるような異常は認められなかった。図6—1に現地調査の実施地域を示す。

エ．地震動による被害状況調査

震度5強以上を観測した震度観測点の周囲約200mの範囲内において、地震動による建物被害等の調査を実施した。主な被害状況は以下のとおり。

震度観測点 (観測した震度)	周辺の主な被害状況
富士河口湖町長浜＊ (震度6弱)	・書籍が棚から落下し、散乱。
大月市御太刀＊ (震度5強)	・花瓶が落下、破損。 ・書籍が棚から落下し、散乱。 ・天井のモルタルや天井板の一部が破損。

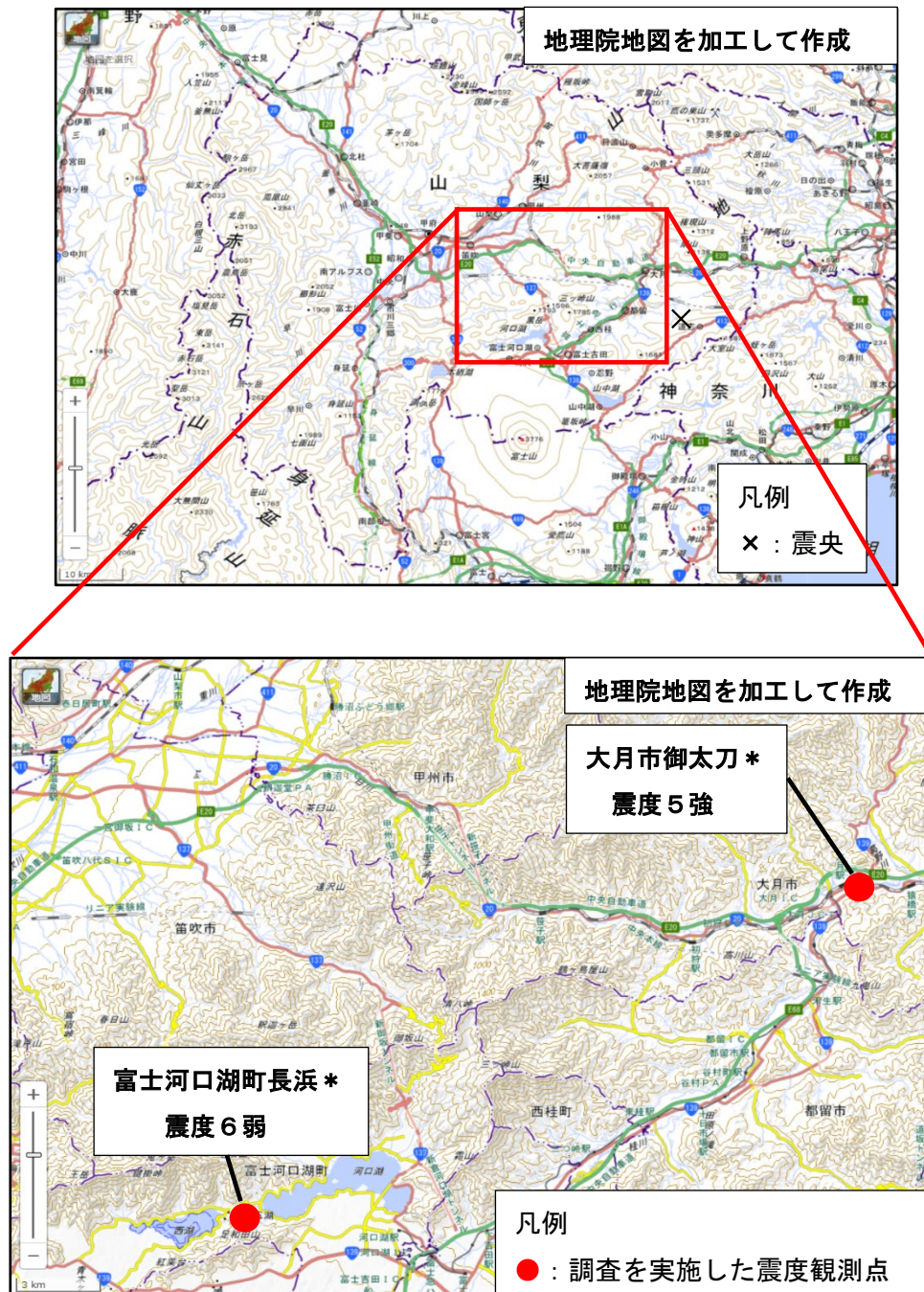


図6-1 現地調査の実施地域

*印は、地方公共団体および国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。